

# RESPONSIBLE CARE REPORT

2015

2015年

ダイヤテックス株式会社

# 2015年度環境・安全・社会活動報告

## ● 「経営理念」

製品の品質や安全性を確保するとともに、環境への負荷を減らし、社会との共生を図り、快適で豊かな生活に貢献します。

## ● 「環境・安全基本方針」

- 安全・安心を基本とし、環境を守り、従業員や地域住民の安全・健康を確保する安定操業管理を行います。
- 地球環境保全のため、省エネ・省資源・廃棄物の削減等再資源化・リサイクル化について、合理的な対策を推進します。
- 新製品はその研究開発段階から環境・安全・健康面の検討を行い、より安全な製品・技術の開発に努めます。
- 遵法精神に加えて自主管理や地域社会との対話に努め、信頼向上を図ります。

# 環境マネジメントシステム

## ◇内部監査・外部監査

RCマネジメントシステム活動の一環として、環境、品質のマネジメントシステムの国際規格であるISO（14001, 9001）を認証取得し、継続的改善を図っています。

今後も環境パフォーマンス、製品安全の向上・改善に取り組んで参ります。

取得年度 ISO14001：2007年11月

ISO 9001：2000年11月

（認証は黒部工場のみ）

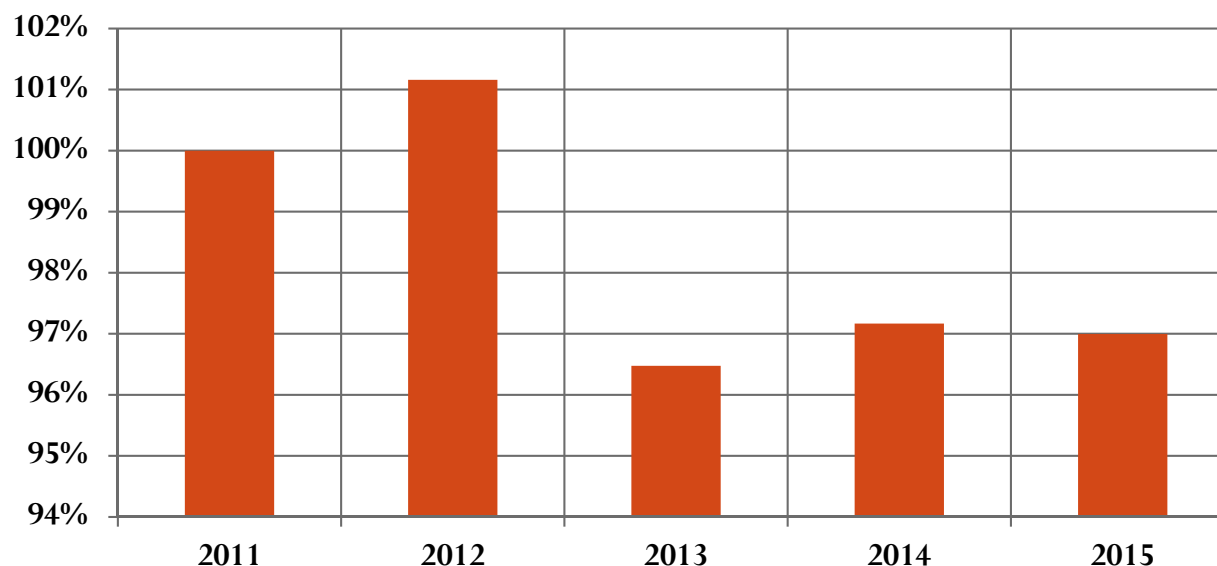
# グラフで見る「レスポンスブル・ケア」の推移(1)

## ◇省エネルギーの推進

省エネルギー対策として、プロセスの変更、省エネ機器の導入、生産設備の効率改善、機器の変更、及び運転方法の最適化を行ってきました。

また、照明設備を随時LED化するなど身近な省エネルギーにも取り組んでいます。

エネルギー原単位の推移 (2011年基準)



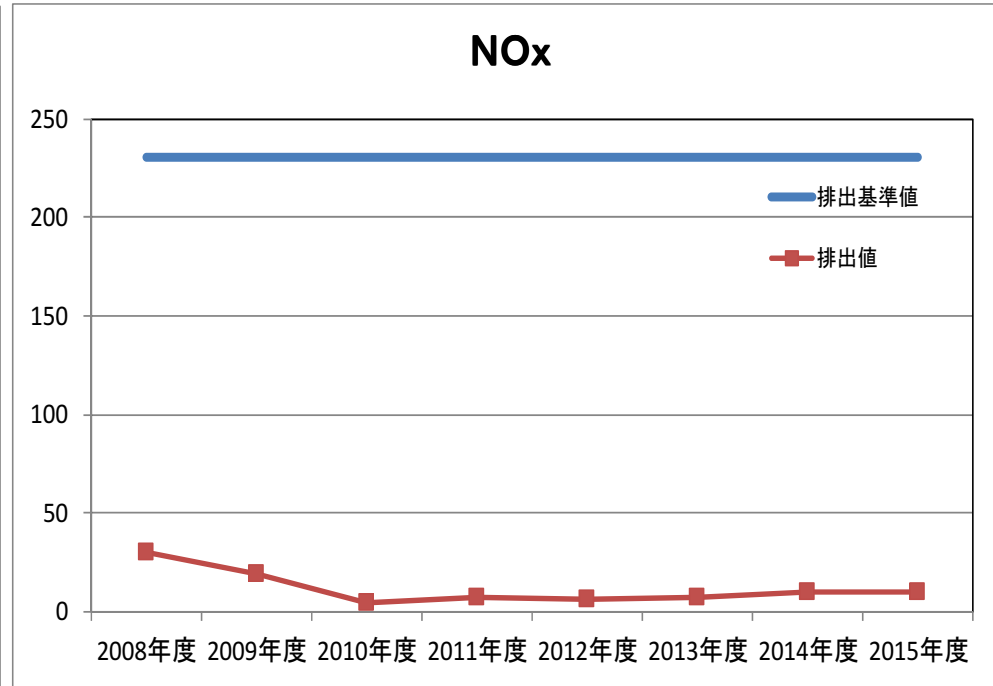
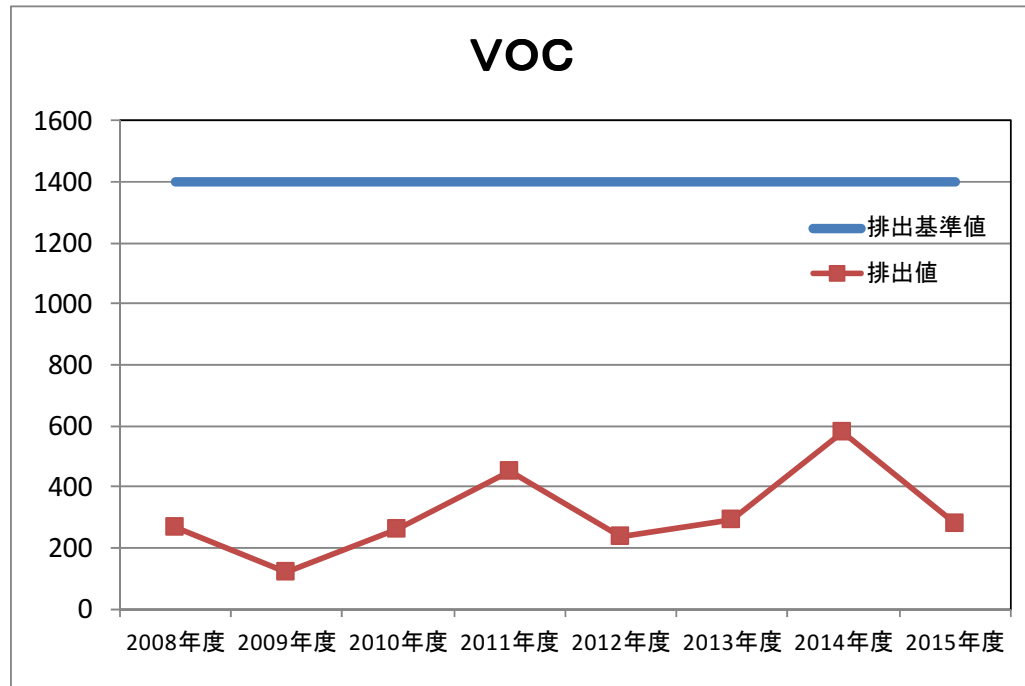
# グラフで見る「レスポンスブル・ケア」の推移(2)

## 大気汚染予防について

### ◇大気汚染物質の削減

使用燃料を削減する事でSOX（硫黄酸化物）、NOX（窒素酸化物）及びVOCの削減につなげています。

今後も燃料使用量の低減、燃料の転換、燃焼バーナーの改善などを行ない、排出量の低減に努めて参ります。

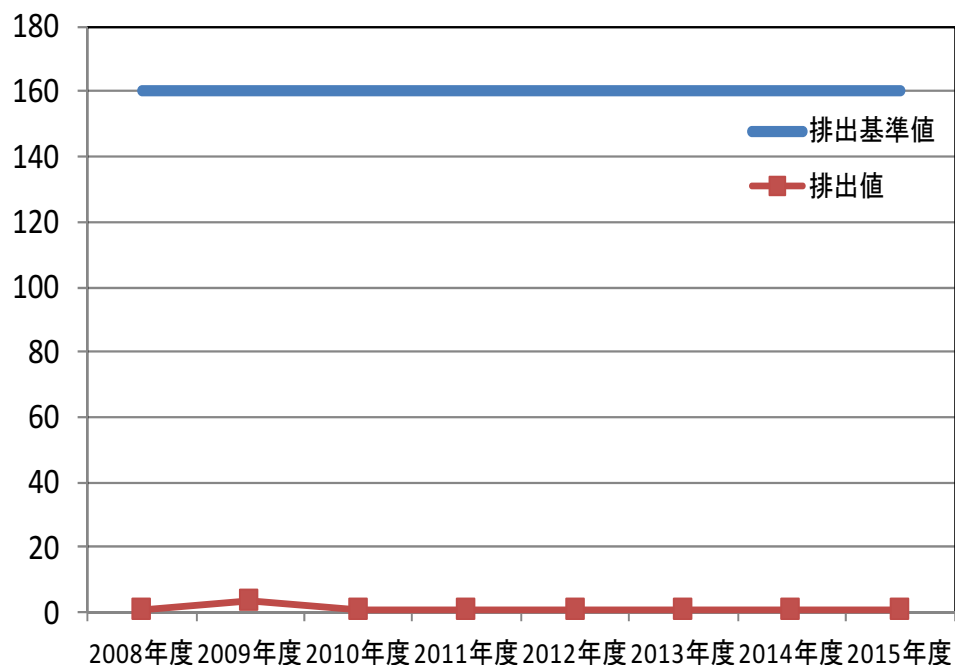


# グラフで見る「レスポンスブル・ケア」の推移(3)

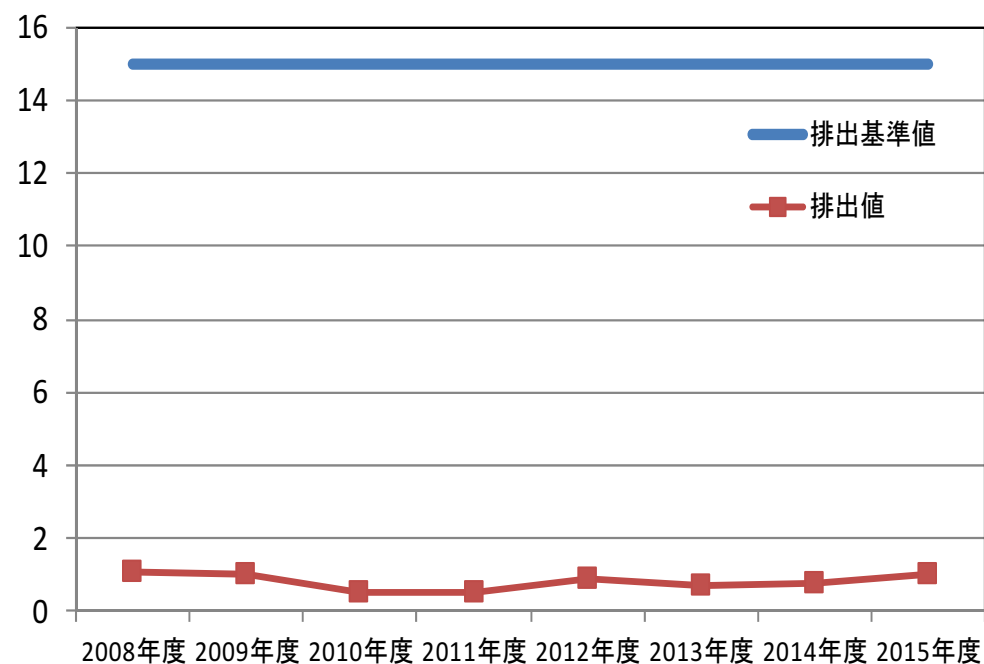
## ◇COD・BODの低減

工場排水処理設備を生産設備の一環として、日々処理状況を監視及び測定しながら、公共水域へのCOD・BODなどの水質汚濁物質の負荷量低減を実施しています。

### COD(化学的酸素要求量)



### BOD(生物化学的酸素要求量)



# 環境保全：廃棄物の削減

➤ 廃棄物処分量を削減するために、廃棄物発生量の抑制（リデュース）、再使用（リサイクル）及び有効利用（リユース）の3Rと産業廃棄物のゼロエミッション最終処分量の削減を目指しています。また、産業廃棄物の処理は、産業廃棄物管理表（マニフェスト）制度に基づく管理を行っています。ISO14001により、使用燃料と製造排ガスの継続的削減を実践し環境負荷の低減に取り組んでいます。

## ◇ゼロエミッション

➤ 事業活動で発生する廃棄物の100%再資源化・再利用化を図るゼロエミッションは、黒部工場で行っています。

## ◇分別リサイクル

➤ 工場では、廃棄物を適正に分別しています。分別した廃棄物は可能な限り再利用、再資源化に努め排出量や最終処分量削減を図っています。

※ゼロエミッション……異なった業種間協同で地球の限られた資源の使用効率を高め、廃棄物（エミッション）がゼロになることを目指す。

# 労働安全衛生：工場を中心とした活動

## ◇5 S活動／3 S強化推進

5 S活動のうち、3 S “整理・整頓・清掃”活動を強化推進する事で安全で清潔感のある快適な職場作りに取り組んでいます。

5 S活動を行う事で労働災害撲滅の一助となる様、継続して取り組んでいます。

## ◇ヒヤリハット/安全提案制度

労働災害を未然に防ぐ活動として、ヒヤリハットや安全提案などの制度を導入し危険箇所の改善と危険行動の防止に努めています。当社では、提案や採用に対し、報奨制度を導入する事でより多くの提案を得る事に努めています。

## ◇危険予知活動 (KY)

作業前に危険を話し合い、それに対する対策を決め、作業者全員が確認の後、各自行動目標を立て、安全作業に臨んでいます。過去に発生した労災の記録表を使って、危険予知訓練を行い、作業において、常に何か危険が潜んでいないか考える習慣を持たせるようにしています。安全の先取りを目指し、危険予知活動を増々活性化させていきます。

## ◇安全パトロール

工場では毎月1回、各Grの安全衛生委員が巡回して日常の作業では気づきにくい「危険・不安全」を解消するために安全パトロールを実施しています。



# 保安防災：緊急時訓練の実施

産業事故あるいは大規模地震など緊急事態の発生に備え、定期的に防災訓練を行い、人的安全の確保、隣接地域への影響を最小限に止めるべく、円滑な防災活動を行えるよう体制を整えています。緊急時処置対応が速やかに行えるように、ISO14001環境マネジメントシステムにその手順を定めています。

## <消火訓練>

2015年 5月

クロスGr

(工場より出火を想定)



## <漏洩・流出訓練>

2015年 10月

ヤーンGr

(地震によるオイル  
漏洩・流出を想定)



# 地域社会との共生：コミュニティへの参加

地域社会との交流として、地域主催行事のボランティア活動と各コミュニティに積極的に参加して交流を深めています。

また、事業所周辺の浄化、清掃等の地域環境美化運動にも定期的に参加し、企業活動に対する正しい理解を得られるように努めています。

当社従業員による献血活動も行われています。2015年度も継続実施し、多くの従業員が献血に協力しております。

## 2015年度 社会活動参加

### <企業の森づくり活動>



### <女性防犯広報隊活動>



### <市内企業見学会>



## 目標

# 2016年度の目標と計画

項目	目標
廃プラ量削減	樹脂ロス 2015年度比 1%の削減

## 各種計画

項目	実施計画	
環境側面評価	法令・条例確認	2月確認
	各種測定	1回/年 浄化槽、排水、飲料水
		1回/年 VOC
		2回/年 騒音
	作業環境	2回/年 騒音、照度
防災訓練	黒部工場全体 (2回/年) 各Gr (7回)	
RC委員会	4回/年開催	